



KANAGAWA

神奈川県

福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課

令和元年度

神奈川県認知症施策活動事例集

～認知症地域支援推進員の活動支援のために～

神奈川県



はじめに

高齢化の進展に伴い、認知症の人の数はさらに増加が見込まれており、国では令和元年6月に、これまでの認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を引き継ぐ「認知症施策推進大綱」を閣議決定し、「共生」と「予防」を車の車輪として、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごすことができる社会づくりに向けた施策が提示されました。

本県では、病気と健康を区分せず、心身の状態が健康と病気の間で連続的に変化するものと捉える「未病」の考え方によりさまざまな施策を進めているところです。

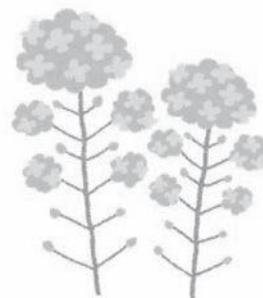
認知症についても「未病」の考え方を踏まえ、認知症の人とそうでない人を区分せず、誰もが認知症になりうるものとして「共生」の基盤のもと、認知症とともに生きる地域社会に向け、認知症についての正しい知識と理解に基づき、施策を推進していきたいと考えています。

これまで県では、平成27年度から推進員研修を開始するとともに、活動の基本となる事例集を作成し、今後の活動の参考となるよう、県内市町村や県保健福祉事務所・センターにおける取組を共有してきました。

今年度は、令和元年9月20日に実施した「2019 世界アルツハイマーデーかながわ」イベントや、令和2年1月8日に実施した「認知症とともに生きる～認知症シンポジウム～」の様子を紹介するほか、各市町村での主な取組や課題、推進員の活動等を取りまとめて掲載しています。

お忙しい中、原稿作成にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、好事例等、実際の取組を参考にいただき、各地域での今後のさらなる認知症施策の推進に活用していただきますようお願いいたします。

令和2年2月 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課



利用にあたって

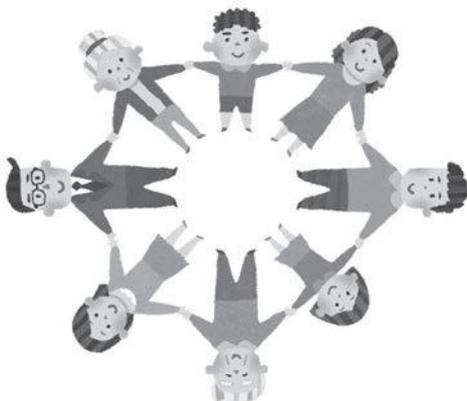
- (1) 相談窓口等情報は、令和元年度に把握した情報をまとめたものです。
- (2) この事例集は、市町村、保健福祉事務所、認知症疾患医療センター、認知症コールセンターにお配りしていますが、神奈川県高齢福祉課のホームページでもダウンロードすることができます。
- (3) お気づきの点がありましたら、下記まで御連絡ください。

連絡先 〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1
神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ
電 話 045-210-4846 (直通)
F A X 045-210-8874
メール anshinkaigo@pref.kanagawa.jp



～目次～

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1 特集 | 1～27 ページ |
| 2 各市町村における認知症の取組 | 28～61 ページ |
| 3 各保健福祉事務所・センターにおける認知症の取組 | 62～67 ページ |
| 4 認知症地域支援推進員研修及び県内配置状況 | 68～69 ページ |
| 5 お電話ください認知症のあれこれ | 71～74 ページ |
| 6 ご存知ですか？若年性認知症のこと | 75～78 ページ |
| 7 若年性認知症の人やそのご家族へ | 79～82 ページ |



1 特集

今年度も認知症施策の推進のため、様々な取組を実施しました。その中で今回は、2つのイベントの様子、各市町村の推進員活動、保健福祉事務所における特色的な取組について特集を組みました。

- (1) 2019 世界アルツハイマーデーかながわイベントの様子 2 ページ
- (2) 認知症とともに生きる ～認知症シンポジウム～ の様子 3 ページ
- (3) 各市町村の推進員活動 4～23 ページ
- (4) 保健福祉事務所・センターにおける特色的な取組 24～27 ページ



“2019 世界アルツハイマーデーかながわ” イベントを 実施しました！

○新都市プラザでの世界アルツハイマーデーイベント



杉山先生 ミニ講座



コグニサイズ実践



ひろし&きー坊



認知症の人・支える人の
ハートフルライブ
ヒデ2



活動報告



三音



しゅわちゃんと
愉快的仲間たち

オレンジランニング



イベント会場から横浜中心部各所をランニングで回りました。



地域の取組などの
パネル展示

ハートフルメッセージ



あたたかい
メッセージ
がたくさん
寄せられました

○オレンジライトアップの様子



「横浜市開港記念会館」



「県庁」



「コスモクロック 21」

- 大船観音（鎌倉市）
 - 江の島シーキャンドル（藤沢市）
 - 平塚駅南口広場噴水
 - 「海の賛歌」（平塚市）
- などもオレンジライトアップしました！



“認知症とともに生きる～認知症シンポジウム”を 開催しました！

認知症の更なる普及啓発促進を図るため、県主催で認知症シンポジウムを開催しました。

当日は、若年性認知症当事者である丹野智文さん、認知症サポート医の湘南いなほクリニック院長・内門大丈医師に講演いただき、更に内門医師を座長に、県内の認知症当事者と丹野さんのトークセッションを実施しました。

認知症サポート医による、認知症概要講演

講師：湘南いなほクリニック 院長 内門大丈 医師

最初に、平塚市初期集中支援チームのチーム員医師としても活動されている、湘南いなほクリニック院長・内門大丈医師より、認知症概要について講演いただきました。



若年性認知症当事者講演

講師：丹野智文 氏

続いて、若年性認知症当事者の丹野智文さんより、発症から現在までについてお話いただきました。

認知症になっても新たな人生は作れる等、たくさんの素敵な言葉をいただきました。

丹野智文氏プロフィール

1974年、宮城県生まれ。自動車販売会社のトップセールスマンとして活躍していた。

39歳で若年性認知症の診断を受ける。

認知症の人が、不安を持つ当事者の相談を受ける「おれんじドア」を仙台市内で毎月開いている。



丹野氏と認知症当事者とのトークセッション

内門医師を座長に、丹野さんと県内の認知症当事者2名が壇上に上がり、トークセッションを行いました。

当事者の方から、診断を受けたときの気持ち、現在の生活、会場に向けてのメッセージ等をお話いただきました。

また、質疑応答では、会場からの質問に対して当事者の皆さんが率直な思いを語って下さり、笑いもおこるなど、「認知症とともに生きる」をテーマに会場全体の温かい雰囲気印象的でした。



市町村名	川崎市
------	-----

【認知症地域支援推進員の活動】

介護いきいきフェアへの出展にて、市民の方と地域で活動している方と専門職を繋ぐこと、また、認知症カフェの普及啓発と川崎市のケアパスであるアクションガイドブックを身近なものとして知っていただけるように、昨年は、当市の認知症カフェの名称でもある「認知症のひととみんなのつながるカフェ」と題して開催しました。

昨年は、アクションガイドブックの4つの視点を題材に、展示と実際に活動しているカフェの方や民生委員児童委員、地域包括支援センター、認知症フレンドリージャパンイニシアチブの方などをお迎えして、セッションを実施、来場者への淹れたてのコーヒーやお抹茶を飲みながら、認知症や地域づくりについて語らう場をつくりました。意外にも相談窓口や支援の事を知らない方が多く、「来てよかった」「もっとこういうアピールをたくさんして」と激励をいただきました。



↑アマチュアバリスタさんとカフェの方々

↑たくさんのメッセージ感想をいただきました。



↑アマチュアバリスタさんとカフェの方々
美味しい香りに癒されました。

今年は、テーマを「認知症×本」として、絵本の読み聞かせで有名である、川崎市内で活躍されている「りぷりんと・かわさき」と、認知症の人にやさしい本棚がある宮前図書館をはじめ、川崎市立図書館の御協力のもと「認知症のひととみんなのつながるブックカフェ」を開催。

「How-To 介護の教科書」「認知症と医療」「本人からのメッセージ」「家族からのメッセージ」「絵本から考えよう」この4つのカテゴリーに分けて展示を行い、昨年同様カフェのリストブックや、セルフサービスで飲物も用意し、「りぷりんと」における読み聞かせや「認知症に向き合う」という認知症の人と家族の会神奈川県支部代表であり、川崎市内のクリニックの院長でもある杉山先生監修のDVDの上映をしました。

昨年同様、来場者の方にお帰りの際、感想を書いて MessageTree に貼っていただきましたが、来場をきっかけに、本の素晴らしさや、「昔を思い出した」「認知症といっても一括りではないと知った」「DVD は泣けました。早く知っていれば自分も対応が違った」など多くのメッセージが寄せられました。



↑ 今年は「本」が中心



↑ 図書館と個人で持っているいろいろな本を展示しました。



↑ のんびり、聞きながらお茶をどうぞ



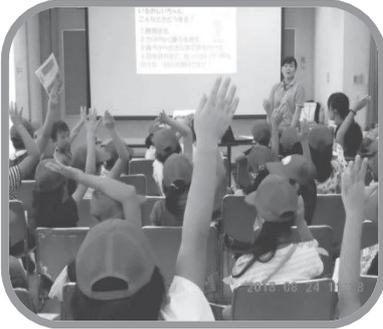
↑ 大活躍のりぷりんとの皆さん

【認知症地域支援推進員の活動】

認知症地域支援推進員の活動

【認知症サポーター養成講座】

一般市民向けだけでなく、小中学校や企業にも開催します。



小学生向け…
活発的な意見ができました



親子向け…ロバ隊長の
マスコット作りも行いました



企業向け…
ステッカーを
渡しています

【認知症サポーター上級研修】

認知症サポーターのフォローアップ研修を地域で開催しています。



研修では
ケアパスを使用
しています



【認知症カフェ】

地域住民が中心となり、推進員と一緒に認知症カフェを開催しています。

「寄り道サロン」で収穫した野菜を使って
みんなでカレー・ポテトサラダを
作って食べました♪



認知症サポーター上級者が
活躍しています！

【認知症予防教室】

推進員が中心となって、毎月市内の公民館などで認知症予防教室を開催しています。

認知症を正しく知って

認知症のリスクを減らそう！



認知症予防体操 … 笑顔でコグニサイズ😊

いち、に、いち、に
あしづみもわすれずに！



【認知症初期集中支援事業】

推進員は認知症初期集中支援チームのチーム員と関わりながら、認知症の方を支援しています。



積極的に意見を出し合っている
選定会議の様子



チーム員から推進員向けの研修を
実施していただいています

【認知症普及啓発活動】

サッカー観戦に来場した多くの方々に認知症に関するチラシを配布し、子ども達には認知症に関するメッセージ入りのうちわ作りを実施しました。



うちわ作りに夢中な子どもたち



平塚市総合公園にて

【認知症地域支援推進員の活動】

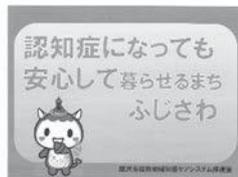


認知症ご本人とご家族を支えるため、市民一人ひとりが、できることから行動に移すきっかけをつくることを目的として、「藤沢おれんじプラン」を作成

子ども向け・企業向け等サポーター養成講座 67 回開催 1,675 人養成 (10.1 現在)



おれんじキャンペーンふじさわ 2019



総合市民図書館にて認知症関連図書を紹介



9/25 講演会に向けて「ALL ふじさわアクションミーティング」開催



認知症当事者を招いた講演会



のぼり旗、を作成し認知症カフェ開催団体へ配布



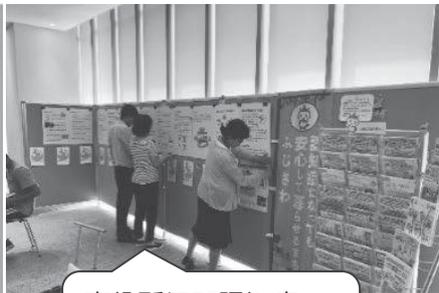
商業施設にて市主催認知症カフェ
「えのカフェ」開催



認知症カフェスタート
アップ講座開催



認知症カフェマップ
改訂



市役所にて認知症
普及啓発パネル展



缶バッジ作成し、
イベントにて配布



江の島シーキャンドルを
オレンジ色にライトアップ

☆トピックス☆

下記イベントでは推進員は積極的に関わってはいませんが、取組として掲載いたします



江の島みんなフェス開催
当事者によるライブ&トークセッション



市民まつりでの認知症
VR体験

【認知症地域支援推進員の活動】

- 同じ所属のスタッフ（保健師・基幹型地域包括メンバー）と一緒に活動しています。
- 認知症施策事業のサポーター養成講座、サポーターステップアップ講座、メイト管理、認知症初期集中支援事業（チーム員会議）、認知症施策検討会、ちがさきオレンジ Day、認知症ケアパス関係、SOS ネットワーク事業、エンディングノートの書き方講座等を担って実施し、認知症検討会でそのあり方を検討します。
- 認知症への理解を深めるために、サポーター養成講座やサポーターステップアップ講座の実施、9月の国際アルツハイマー月間にちがさきオレンジ Day を開催しています。
- サポーター養成講座は、市が実施するほか、各地域包括や介護事業所で実施する機会も増えており、小・中学校との協力や地域や企業からの依頼により実施する場合も増えて、受講対象の幅が広がっています。
- 認知症ケアパスとして作成した「茅ヶ崎市認知症あんしんガイド」を使い、相談先やサービスの周知に努めています。
- 認知症の方や家族への支援として、認知症初期集中支援事業（チーム員会議）や SOS ネットワーク事業、徘徊高齢者早期発見位置お知らせサービス（GPS 装置の貸与）を実施しています。
- 地域包括の保健師部会の中で、認知症をテーマに、取組方や内容等の検討も行っています。
- 担当地区でのサロン等地域の取組に地域包括と共に協力しています。
- 市内の各事業所や地域内で実施されている認知症カフェの実施について、情報提供を受けて市民周知に努め、推進員が中心となって認知症カフェの実施を検討しています。
- 介護予防事業の中で、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」等を実施しています。



第2回
ちがさき
オレンジDay
みんなで支える認知症

入場
無料

9/29 (日) 9:50~15:00 茅ヶ崎市役所本庁舎
※入場は9:30~ 1階ふれあいプラザ・4階会議室

1階 ふれあいプラザ(9時50分~15時)

9:50 市長挨拶

10:00 若年性認知症当事者&支援者「ヒデ2」
によるお話しとミニコンサート

12:40 和太鼓演奏(文教大学和太鼓部「楓」)

13:20 元気はつらつコーナー

認知症予防のための運動(歌体操・コグニサイズ・ちがさき体操など)

14:40 津軽三味線演奏(和楽会「昇」)

4階 会議室1 (11時~15時)

11:10 パネルディスカッション「みんなで支えるSOSネットワーク」

パネラー(仮):ふれあいの森・家族・民生委員など

13:15 「脳が喜ぶ」遊びのコーナー(寸劇と交互に実施)

ゲームや湘南マジシャンズクラブによるマジック

13:15 寸劇「えぼし花子さんのお話」~SOSネットワークを知る~

小さいお子様も
大歓迎ぞよ!

4階 会議室2・3

(13時~15時)

相談コーナー

医師・歯科医師・薬剤師・
ケアマネジャー・社会福祉士
による個別相談

1階 ふれあいプラザ

(10時~15時)

創作作品の展示

デイサービスやグループホーム
などの利用者様の創作
作品を展示します。

1階 ふれあいプラザ

(11時~13時)

「わたしをさがして！」

in オレンジDay
(10時~14時)

受付:4階 会議室前

お子様と楽しめるゲームです!
みまもりあいアプリに届いたヒ
ントをもとに、会場内にいる人
を探してみよう!
ゴールで景品がもらえるよ!

4階 会議室4(13時~15時)

認知症を知ろう! 語ろう!

家族会や若年性認知症当事者の
活動の様子を紹介します。

“同時開催イベント” RUN伴2019 in 神奈川 (9時~9時30分)

認知症の人や家族、支援者、地域の人が少しづつリレーをしながらタスキを
つないでいくイベントです。本庁舎1階エントランス前からスタートします。

昼食販売



「高齢者にやさしい地域づくり
推進協定」締結コンビニ店が
出張販売をします!

主催:茅ヶ崎市 問い合わせ先:高齢福祉介護課 0467-82-1111(代表)
共催:茅ヶ崎医師会 茅ヶ崎歯科医師会 茅ヶ崎寒川薬剤師会 茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会
地域包括支援センター 福祉相談室 にこにこクラブ
協力:認知症疾患医療センター 認知症サポーター 高齢者支援リーダー 歌体操ボランティア
(株)セブン-イレブン・ジャパン (株)ローソン (株)ファミリーマート
※チラシの内容は当日一部変更になる場合があります。ご了承ください。

市町村名	大和市
------	-----

【認知症地域支援推進員の活動】

地域包括に所属する推進員（9名）と市職員が、地域課題の解決を目指すため3つの部会を構成し事業や研修を実施。

1. サポーター養成講座

市民に対し、より認知症の理解を深めてもらえるサポーター養成講座を目指し、講座内容の検討を行っている。令和2年度から運用開始予定。

2. 「当事者支援のあり方検討会（若年性認知症当事者ミーティング わすれな草の会）」

市内在住の若年性認知症の方とその家族、若年性認知症支援コーディネーター、社協等をメンバーに年6回の本人・家族ミーティングを開催。推進員は当事者の自立運営を目指し側面支援をしている。今年度は当事者のアイデアでメンバーの交流を目的に日帰りバスツアーを開催予定（10月実施予定であったが、台風19号の影響で令和2年3月に延期）。社協の「支え合いの地域づくり推進モデル事業」の助成金を活用。

3. 認知症多職種協働研修

医療も介護も生活支援の一部であることを十分に意識し、医療と介護等が相互の役割・機能を理解しながら、統合的なケアにつなげていくため、認知症ケアにおける多職種協働の重要性等を習得する大和市認知症多職種協働研修を実施。

第1回 (8/29)	テーマ：認知症の最新知識 ～BPSDの投薬を考える～ 講師：たなかクリニック 田中千彦氏（認知症サポート医）
第2回 (11/18)	テーマ：若年性認知症の人と家族が抱える複合課題 ～課題解決解決の糸口を見つける～ 講師：若年性認知症支援コーディネーター 田中香枝氏 事例提出：上草柳・中央地域包括支援センター
第3回 (2/7)	テーマ：その人らしい暮らしとは何か。これまでの支援を問い直す。 ～認知症とともに生きる地域と基本法～ 講師：東京慈恵会医科大学 教授 繁田雅弘 医師

その他、各推進員が担当地域で認知症カフェや介護者交流会を企画・運営している。



若年性認知症当事者ミーティング（わすれな草の会）



第2回 認知症多職種協働研修(11月18日実施)

市町村名	伊勢原市
------	------

【認知症地域支援推進員の活動】

○アルツハイマーデイ普及啓発イベント

・アルツハイマーデイブックフェア開催 包括の地域交流スペース 2 か所で認知症関連書籍やイベントの紹介を実施。来所者から「書店ではゆっくり選びにくい
が、置いてあると内容をじっくりと確認できるのがいい」「空き時間に本を読ませてもらいたい」との反応があった。

・認知症予防メニューを地域交流スペースのカフェで期間限定の提供 DHA 豊富な鯖缶を使用したメニューや大豆イソフラボンが脳活性に効果があるということで、豆乳プリンを期間限定で提供。鯖缶を使用したメニューが特に人気で、「美味しくて脳活性もできるなら嬉しい」と連日売り切れになるほど好評だった。

・認知症疾患医療センターや総合病院での認知症啓発のパネル展示や相談会等を実施し、受診患者や家族、地域住民が多数来場した。

・認知症サポート医のクリニックでオレンジライトアップを行った。



【ブックフェアの展示】



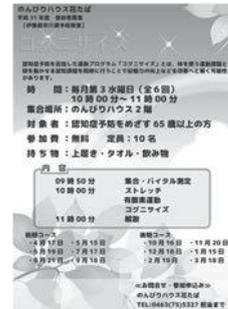
【鯖の三色丼】

○コグニサイズ教室

包括の地域交流スペースで毎月コグニサイズを開催。認知症のことが気になる地域の高齢者に月に1回半年コースで実施。参加者の運動の習慣化や意欲向上等を目的に i-pad を用いた認知機能評価を教室初回、終了時に実施し、教室参加者へ結果をフィードバックしている。



【コグニサイズ教室の様子】



【コグニサイズチラシ】

○親子向け認知症サポーター養成講座

夏休みに小学生とその親を対象にした認知症サポーター養成講座を開催。8組23名（内小学生14名）が参加。スタンプラリー方式で、①紙芝居方式で認知症に関する基礎知識講座②みかんくんモモちゃんの〇×クイズ及びコグニサイズ紹介③インスタントシニア体験の3ブースをめぐることで認知症に対する知識を親子で深めていただいた。会場内に子供向けの認知症関連図書紹介コーナーを設置し、読書感想文等夏休みの宿題にも生かしていただけるようにした。

オレンジパートナーに、当日の会運営及びロバちゃんマスコット作成を依頼し、作成したマスコットはオレンジリングと共に参加者にプレゼントした。

「お年寄りを大切にしようと思った」「コグニサイズが面白かった」等の感想が聞かれた。



【親子認サポ当日】



【オレンジパートナーとの事前打合せ】



【手作りロバちゃん】

○認知症カフェ

「オレンジカフェ」と称して各包括エリアで年1回合計5回を実施予定とした。東部包括エリアでは、認知症初期集中支援チーム対象者への支援目的で、チーム員の医師にも協力いただき、臨時に1回開催した。内容に関しては、ランチミーティングを実施したり、懐かしい昔の遊び体験をしたり、各包括が趣向を凝らして実施。月に1回程度実施してほしい、との要望も多数。11月～はオレンジパートナーが主催で、その方の実家を提供いただき、月1回の定期開催のオレンジカフェが始動した。

○オレンジヨガ教室

認知機能の維持向上に効果があると言われるヨガ教室をおおよそ隔週、年23回開催。対象は前年度実施したiPadを用いた認知機能評価で「1もしくは2」の判定が出た方とし、11名が参加。参加者には今年度も認知機能評価を受検していただき、効果を検証する予定。来年度も同様の形で実施予定。



【オレンジカフェの様子】



【ランチミーティングの食事】



【オレンジヨガ教室の様子】

市町村名	南足柄市
------	------

【認知症地域支援推進員の活動】

■活動の経緯と概要■

平成22年度に南足柄市の「認知症」に関する意識調査や統計調査を実施し平成23年2月から地域の課題を皆で考えアクションにつなげることを目的に「認知症地域支援アクションミーティング」をスタートしました。行政だけでなく多職種、多機関、認知症の本人や家族が参加し定期的に開催しています。将来に向けて必要なことや、こうなってほしいという姿、やりたいことをグループワーク形式で出し合い南足柄の“わがまちアクション”の柱を作成した後に活動をスタートしました。現在はこの活動を推進員活動に位置づけています。



<p>小さな輪から大きな輪へ！！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月「ほっとカフェ」開催 ・身近な施設を いっぱい使おう！！ ・身近な施設を 相談窓口に！ <p>チーム名:コツコツ隊！！</p> 	<p>ワクワク楽しい南足柄マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南足柄市の情報マップ作成中です！！ ・認知症ってはずかしくないですよ、 ・みなさんの力でフォローしていきましょう、 ・どんな資源があるのか情報収集中 <p>チーム名:チーム マップ</p> 
<p>なんでも相談 よいしょくん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症講演会・相談会の企画実施 ・認知症のこと、もっと普及啓発しましょう ・これから各機関がつながるといいな ・「おつなぎマニュアル」作成予定、 ・ひまわりチームが合併して普及啓発に力を入れます。 <p>チーム名:かけはし みなみ (ひまわりチーム合併)</p> 	<p>みんなで耕す金ちゃん農園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怒田で畑をスタートしました！ 認知症になっても気軽に出来る場所 ・季節を感じられる、太陽を感じて汗を流せる ・同じものを見て一緒に感動できる仲間がいる ・みなさんと一緒に汗を流しませんか <p>チーム名:金ちゃん農園</p> 

■実際の活動■



アクションミーティングでは誰が参加してもいいように声を掛け合って自由に参加者を募っています。

認知症カフェを始めるにあたっては市内の病院事務の方が普段利用している駅前の喫茶店の方を誘ったことで、その喫茶店でスタートしました。

カフェは地域住民の方にも浸透し時には地域参加者のほうが多い時もあります。地域の方がこんな手芸をみんなでやってみようと材料を持ち寄ったり、カフェの後喫茶店でランチをとったり仲間同士の交流も増えています。

また農園づくりチーム(金ちゃん農園)では農協の女性部の方から苗を分けてもらったことからスタートし、亡くなられた認知症の方のご家族から畑を使って欲しいと場の提供がありました。畑の管理はボランティア



さんや、オレンジパートナーさんが手伝ってくれています。農作業の経験のある認知症のご本人はイキイキと作業をされています。



認知症の普及のための講演会チームには企業の健康保険組合の人や病院関係者等が加わり講演会を企画・開催しています。講演会終了後には医師・薬剤師・認知症認定看護師・ケアマネなどの相談会も実施しています。

認知症支援のマップづくりを行うチームではメンバー各自が地域の情報を収集し作成中です。今後支援マップをQRコード化し普及していく方向です。

市町村名	寒川町
------	-----

【認知症地域支援推進員の活動】

○サポーター養成講座の開催

全中学3年生を対象に開催。

郵便局、商工会、銀行、図書館等にサポーター養成講座を開催し、「認知症サポーターがいます」のステッカーを貼っていただき、地域で認知症の人を見守り支援できるまちづくりのため、活動している。



町立図書館受付のステッカー



郵便局でのサポーター養成講座

○サポーター養成講座ステップアップ講座の開催

認知症の理解を深める為のグループワーク、地域で活躍されている方への体験談が主な講座内容。講座終了者には修了証をお渡ししている。

○認知症に関する相談、支援の実施

認知症に関する相談が推進員に集まるようになってきている。認知症の方と家族だけでなく、ケアマネジャーや民生委員等地域の支援者からの相談も多い。地域のネットワークが少しずつ構築できている。

○認知症初期集中支援事業との協働

チーム員として訪問支援をし、チーム員会議に毎回参加し、認知症の方をその家族への支援、地域の見守り体制づくりの為に活動をしている。



図書館に認知症コーナーを設けていただき、知識の普及に協力いただいている

○認知症カフェ（こすもすカフェ）運営

認知症の方や家族、地域の支援者、ケアマネジャー等様々な方が参加されている。

認知症の方がケアマネジャーに出会い介護サービスにつながったり、家族の方が、家族の会につながったり、ここでの出会いがつながりを作っているご様子がある。

支援者が否かに関わらず、全ての参加者により利用料をいただき、スタッフ、お客様の区別のない形で運営している。

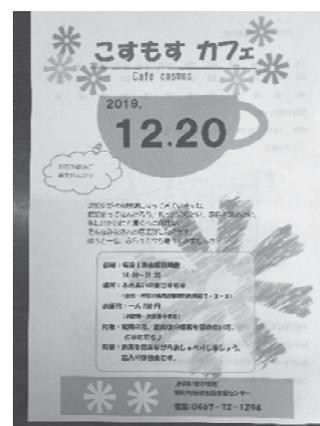
月1回の開催だが、毎回20名弱の参加があり、会話やお茶を楽しんでいるご様子である。



手書きの看板で
お出迎えている



推進員が毎回参加し、
認知症の方やその家族と
支援者をつないでいる



チラシは3種類作成し、
認知症の方を誘いやすい
工夫をしている

令和元年度からは、町内に2か所目の認知症カフェである「ファミリーカフェ」の立ち上げの協力もさせていただいている。

○認知症ケアパスの普及

○寒川介護者のつどいへの参加

認知症の家族のお話を伺い、認知症の方との関わりを助言している。また、実際に訪問し認知症の方にお会いし支援している。地域の認知症の方を介護している方、支援している方との関わりを大切に活動している。

○広報活動について

社会福祉協議会の広報紙の推進員のコーナー、町広報紙、さむかわラジオ、ケアマネジャーの会などで積極的に推進員の活動について周知している。

市町村名	大井町
------	-----

【認知症地域支援推進員の活動】

平成 27 年度
 ・推進員配置
 ・サポーター養成講座

平成 27 年度に直営地域包括の保健師 1 名を推進員として配置し、サポーター養成講座を子どもや職域に開催。未来の支援者づくりを始めました。



平成 28 年度
 ・サポーターステップアップ講座
 ・ステップアップサポーター修了者の会を開催

サポーターやメイトを対象としたステップアップ講座にて町内グループホームの見学や地域の認知症の方の現状や今後どう支えていくかをグループワークにて話しあいました。その後、希望者で修了者の会を開催しました。

平成 29 年度
 ・ステップアップサポーター修了者の会開催
 ・サポーターステップアップ講座(カフェの実際の運営方法と関わりに必要な知識)

29 年度も継続して修了者の会を開催し、会の中では「認知症のご本人も家族も気軽に集まれる場所を作ろう」という話になりました。実際にカフェを運営している講師と共に認知症ご本人と家族を交えたカフェの運営体験会を開催したり、認知症専門医・看護師の講話や介護者家族の体験談を聞くことで「具体的に場所や方法等どう準備をしたら良いのか」という疑問を解消し、準備を進めました。



平成 29 年度
 ・認知症カフェ
 「オレンジカ
 フェひだまり」
 プレオープン
 ・小学生に出前
 授業を開催
 ・介護予防事業
 への小学生の受
 け入れ

「まずはやってみよう」と平成 29 年 12 月より「オレンジカフェひだまり」をプレオープンし、開店イベントとして町民ギタリストによる音楽会を開催しました。



また小学生に対し「高齢者と認知症について」の出前授業を開催し、その後介護予防事業に参加し、交流することで小学生や教員の、高齢者と認知症に対する先入観が減少するという効果が出ています。



平成 30 年度
 ・「オレンジカ
 フェひだまり」
 開店
 ・ケアパス「大
 井町 認知症
 ガイドブック」
 作成

30 年 4 月にオレンジカフェひだまりが開店しました。サポーター主体で運営してもらいながらも、推進員は専門職としていつでも来店者・サポーターの相談にのれるように常にカフェには常駐するという体制をとっています。またカフェに来店した認知症ご本人と家族、サポーター、地域支援者とともに「大井町 認知症ガイドブック」を作成し、窓口配布や認知症の相談を受けた際に渡す等の活用をしています。今後も町民と協働で推進員活動を行っていきます。



大井町
 認知症ガイドブック
 ～認知症と共に暮らすための暮らしのページ～



【認知症地域支援推進員の活動】

『きらきらニコニコ松田町』
～認知症になってもあんしんして暮らせるまちをめざして～

認知症サポーター養成講座の受講者 住民の 15.7%に！

○サポーター養成講座

☆1：自治会代表の住民と連携し実施団体の展開をしている。

☆2：講座内で、参加者に寸劇の配役になってもらう。

☆3：講座内で、松田いきいき元気の会(介護予防サポーターの任意団体)が
コグニサイズの実践指導。全自治会・町職員 8 割以上・町の協力団体・
商工会・金融機関、小学生等幅広く展開！○受講者へオレンジリングと有志の方々の
手作りロバのストラップをプレゼント♡

○サポーターステップアップ講座

年度内 1 回全 3 回で実施！

認知症高齢者疑似体験、当事者のお話、GH 見学等

○松田オリジナル講座用紙芝居作成

有志と共に作成。 【ぼくのおばあちゃん】

講座で活用開始！！(R2 年 4 月には任意団体に)

いきいき元気の
会指導12月24日
紙芝居初披露！ロバのストラップ
づくりのメンバー

認知機能低下予防教室(コグニサイズ)から自主グループへの展開！

○認知機能低下予防教室：3か月間全12回

事前事後で認知機能評価を実施。毎回宿題、毎日運動メニューの提供、
カレンダー作成し勧奨。毎回フィードバックを実施。

意識、運動の定着を図る。

事前事後の結果を大学教授に分析依頼し、
認知機能の改善ありとの報告。

○自主グループへ展開し後方支援を実施。

3か月間終了後自主グループへ移行。

町内3か所の自主グループの後方支援。

認知症サポート医
も教室に参加

MATSUDAおれんちの会(認知症カフェボランティア) 【H31.4月発足】と協働開催！

○認知症カフェ

「MATSUDA おれんち かふえ」を
毎月1回町内のカフェ・バーにて開催。

- ・町住民によるコンサート・
認知症サポート医のお話



上：サポート医の話
左：かふえクリスマス



○夏休みこどもとのつどい開催

手話サークルの方と手話で歌、風船バレー
二人羽織り等実施。

○認知症かぞくのつどい(いつものカフェバーで)
年3回認知症の方を介護しているご家族が
集まり、情報交換をしている。

○認知症講演会 年1回開催

サポート医の講演・住民によるコンサート・
子供講座・ご家族の講話等盛り込み開催。

○アルツハイマー月間イベント

町・おれんちの会取り組み紹介パネル展示
図書館に認知症コーナー設置

○おれん路さんぽ(おれんちの会企画)

年2回開催



夏休みこどもとの
つどい(二人羽織り)



MATSUDA
おれんちの会の皆様



おれん路散歩
酒蔵めぐり

認知症ケアパス作成 全戸配布

認知症初期集中支援チーム員活動

- 認知症初期集中支援チーム員会議運営、
サポート医同行訪問(月1回)
- 認知症相談・受診相談等



センター名	平塚保健福祉事務所秦野センター
-------	-----------------

平塚保健福祉事務所秦野センターの取組

○管轄市の認知症初期集中支援チーム会議

市町村支援のため、管轄 2 市の認知症初期集中支援チーム会議に毎回出席。

市や地域包括、地域の医療機関職員等のチーム員と顔がつながり、随時相談を行いやすい関係を築くことが出来ている。また、チーム会議で度々解決策の 1 つとして、当センターのもの忘れ相談につなぐケースもある。地域と連携した支援をすすめている。

○センター物忘れ相談、随時相談

平成 30 年度実績

実施回数	相談実数(名)	相談のべ数(名)
14 回	32	33

- ・受診が必要かどうかの判別。長谷川式スケールの実施。必要時は紹介状発行。
- ・受診拒否があるケースの訪問相談。家族や支援者だけの来所相談。
- ・地域包括や医療機関へのつなぎを実施。

○若年性認知症のつどい 年 2 回実施

目的：当事者、家族、支援者が集まり、情報共有や知識を得る機会を提供。同じ境遇の方同士や支援者と繋がる場とする。

開催日・会場	テーマ・講師	参加者数
令和元年 7 月 29 日 伊勢原シティプラザ ふれあいホール	情報提供と参加者の交流 (情報提供者) 若年性認知症コーディネーター 田中香枝氏 認知症カフェピープラーメンバー	22 名 当事者、 介護者、 支援者等
令和元年 10 月 21 日 平塚保健福祉事務所 秦野センター講堂	講話 「若年性認知症の支援」～当事者発信活動 から伝えたいこと～ 町田町の保健室代表理事 松本 礼子氏と 当事者 2 名	14 名 介護者、 支援者、 一般住民

認知症の中でも若年性に特化した取組をセンターは実施。参加人数は決して多くはないが、当事者や家族のつどいの場の 1 つとして、生の声を伺う場として継続開催していきたい。

支援者や関心を持った住民に当事者や介護者の理解を深めてもらう場ともしたい。

○認知症施策に関わる専門職対象研修

目的：認知症支援に関わる専門職が専門知識を得る機会を提供する。地域の認知症支援の質が向上し、更に取組が充実していくことを目的とする。

秦野市の「ケアプラン研修」と同時開催。年 6 回の研修のうち 1 回は認知症や認知症にまつわる内容を担当する。過去取り上げたテーマは、

平成 29 年度「認知症における妄想と老人性精神障害における妄想性障害について～病状と治療～」 講師：医療法人丹沢病院 院長 関口 剛 氏

平成 30 年度「高次脳機能障害の基礎知識～認知症との違いや支援方法～」

講師：神奈川総合リハビリテーション事業団地域リハビリテーション支援センター
高次脳機能障害支援室 佐藤 健太 氏

今年度実施状況

開催日・会場	テーマ・講師など	参加者数
令和元年 9月11日 秦野市保健福祉センター 多目的ホール	認知症支援について ～様々な相談支援の取り組み、医療との連携～ (情報提供者) 伊勢原市介護高齢課 水谷 淳子保健師 秦野市高齢介護課 榎山 由梨保健師 県高齢福祉課 田中 智子保健師 秦野センター 神崎 麻理子保健師 (講師) 湯浅クリニック院長・伊勢原市認知症初期集中支援チーム医・認知症サポート医 湯浅 直樹医師	148人 (内訳：居宅ケアマネ91名、包括24名、通所介護15名、グループホーム・施設ケアマネ15名、病院職員3名)

情報提供：管轄2市の認知症初期集中支援チームの取り組み紹介

県高齢福祉課の担当事業や県内の初期集中支援チームの現状と課題について

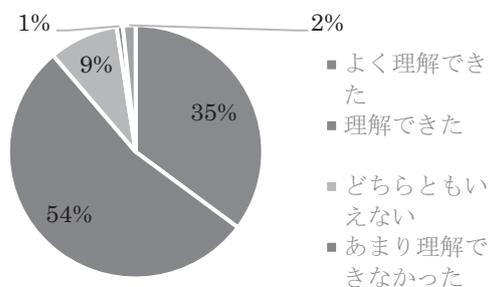
秦野センターの認知症関連事業紹介と管轄市の初期集中支援チームとの連携について

講演：情報提供に対する総括と医師の立場からの後援

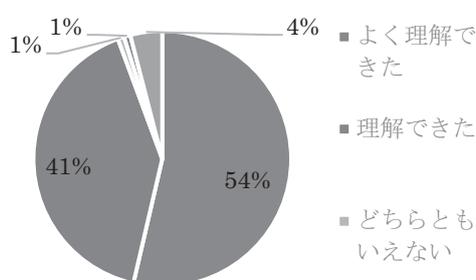
認知症の新しい検査の情報や治療薬の組み合わせ、初期集中支援チーム医の役割と地域との連携について

〔参加者の声〕～アンケート結果の抜粋～

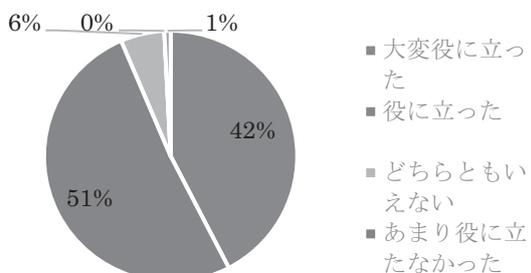
情報提供について



講演について



今後の業務に生かせそうか



概ね良く理解でき、業務にも役立てそうだとのご意見を多くいただくことができました。認知症に関する新しい知識が学べた。認知症初期集中支援チームの実際を知ることができた等の感想も聞かれた。

センター名	鎌倉保健福祉事務所三崎センター
-------	-----------------

【保健福祉事務所・センターにおける特色的な取組】

【出前型各種講習会】

○趣旨

地域の人が、健やかに安心して生活や仕事を営めるように、知っておくと役立つ情報の提供や専門的な知識の普及のため、三浦市内の様々な施設・団体等からの要望に応じて、職員が出向いて各種講習会を開催している

○対象

社会福祉施設、乳幼児施設、小中学校、県立高校、商工会議所等

○内容

テーマ例：食中毒の予防、感染症の正しい知識と予防、認知症とは？症状と対応、こころサポート講座、など

当所は上記事業を平成 23 年度から実施している。その中で認知症をテーマとした出前型講習会を実施している↓↓↓

○認知症出前型講習会について

- ・介護保険サービス事業所からの要望に応じて、概ね年間4～5件実施している
- ・認知症の症状、対応方法、ケア、治療等を中心とした内容とし、適宜事業所からの要望に応じて内容を修正している。講習会ではコグニサイズを紹介し、実施している。
- ・施設によっては、施設内の研修として当講習会を位置付けていることもあり、大変好評をいただいている。
- ・介護保険サービス事業所とは、認知症事業での関わりはもちろん、他事業での関わりもあるため、連携を深める良い機会となっている。

【精神科医師による認知症定例相談】

○回数

年6回（不定期） ※精神科医師によるメンタルヘルス相談でも対応（年14回程度）

○対象

三浦市内在住の本人及び家族

○相談時間

原則1時間程度

○アピールポイント

- ・精神科医師による、認知症の診断見立て、対応の助言、病院への紹介など幅広い相談にも対応できる。
- ・本人が来れなくても、家族のみでも相談できる。
- ・相談は無料、精神科医師に1時間も相談できる。

【認知症研修開催】

○回数

年2回程度

○対象

三浦市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町など（その後も受け付けております）

介護保険関係職員、医療関係職員、認知症初期集中支援チーム員、推進員など

○テーマ例

「認知症の人のアセスメントとそれに基づいたケア」

「認知症の総合アセスメントと初期集中支援チーム」

「若年性認知症の人と家族の理解」

「若年性認知症について」

など

○アピールポイント

・介護保険サービス事業所での出前講座、研修のアンケートを参考にテーマを決定し、講師選定しているので、ニーズの高い内容となっている。アンケートの満足度も高いです。

【世界アルツハイマーデー】

・9月いっぱい、三崎センター内でブースを設け、認知症に関するチラシやポスターを掲示

・チラシやポスターを掲示、配架いたしますので、ぜひご送付ください！

